



2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月13日

上場会社名 のむら産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）清川 悦男
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）西澤 賢治 TEL 042 (497) 6191
半期報告書提出予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年11月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期中間期	3,250	1.2	311	15.0	313	15.0	207	19.2
2024年10月期中間期	3,211	5.9	270	5.8	272	6.6	174	5.9

（注）包括利益 2025年10月期中間期 207百万円（20.3%） 2024年10月期中間期 172百万円（0.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期中間期	157.09	—
2024年10月期中間期	131.76	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期中間期	3,863	2,042	52.3
2024年10月期	4,113	1,912	46.1

（参考）自己資本 2025年10月期中間期 2,021百万円 2024年10月期 1,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	59.00	59.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	—	—	62.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	1.3	544	7.8	544	6.6	352	3.8	266.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年10月期中間期	1,391,575株	2024年10月期	1,391,575株
--------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年10月期中間期	69,307株	2024年10月期	69,266株
--------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年10月期中間期	1,322,292株	2024年10月期中間期	1,322,329株
--------------	------------	--------------	------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2024年11月1日～2025年4月30日）におけるわが国経済は、コロナ禍前を上回るインバウンド需要など、サービス産業を中心に緩やかな景気回復が期待されましたが、米国関税政策や、物価上昇による景気下押しリスク等、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、企業理念にある「人に優しい新技術」をモットーに、きめ細かいサービスを継続すること、また、企業活動を通じた社会貢献に努め、安定した経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は32億50百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は3億11百万円（前年同期比15.0%増）、経常利益は3億13百万円（前年同期比15.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2億7百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

（包装関連事業）

包装関連事業の主要取引先であるコメ流通業界は、コメの価格高騰により消費者の購買意欲が低下していることに加え、備蓄米放出によるコメの価格低下を期待した買い控えなどの懸念材料はあったものの、原料玄米不足やコメ価格高騰による包装資材の小容量化ニーズへの対応や、期初に行った原材料価格高騰に対しての適切な価格転嫁などにより、資材関係の売上高は堅調に推移いたしました。機械関係は、前年同期のような大型案件は少なかったものの、前期末の受注残を着実に収益に結びつけられ、販売計画通りで推移しております。また、コロナ禍で滞っていた海外向けの商談も再開し、タイ向けに当社製品の納品を行うことができました。

その結果、売上高は27億84百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は2億78百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、物流業界の働き方改革による物流コストの上昇などの影響で、物流業界全体の荷動きとしては鈍化傾向で推移いたしました。一方で、ネット通販市場は引き続き拡大傾向がみられるなど、物流需要は底堅く推移いたしました。業績については、大手通販会社が梱包資材を環境に配慮した低コストの梱包資材にシフトする方針とした影響で、前年同期比において減収となっております。但し、この影響については当連結会計年度における物流梱包事業の計画に織り込んでおり、業績としては計画通り堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は4億65百万円（前年同期比5.3%減）となり、セグメント利益は32百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円減少し、28億92百万円（前連結会計年度末比7.9%減）となりました。これは主に、法人税等の納税、配当金の支払い、及び仕入債務の支払いにより、現金及び預金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、9億70百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。これは主に、償却によりのれんが減少したこと等によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2億50百万円減少し、38億63百万円（前連結会計年度末比6.1%減）となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、17億43百万円（前連結会計年度末比18.0%減）となりました。これは主に、電子記録債務が期日到来により減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し、77百万円（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。これは主に退職給付に係る負債が増加したこと等によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ3億80百万円減少し、18億20百万円（前連結会計年度末比17.3%減）となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億29百万円増加し、20億42百万円（前連結会計年度末比6.8%増）となりました。これは主に、株主配当により利益剰余金が減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益を獲得したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少し、12億61百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は61百万円（前年同期は獲得した資金95百万円）となりました。これは主に、前年同期を上回る3億13百万円の税金等調整前中間純利益を獲得できたものの、仕入債務の減少2億65百万円及び法人税等の支払額1億14百万円が大きく影響したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は26百万円（前年同期は使用した資金9百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が25百万円生じたこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億13百万円（前年同期は使用した資金1億41百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出28百万円、及び配当金の支払額78百万円が生じたこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期通期の業績につきましては、2024年12月13日付「2024年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した業績予想に変更はございません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,462,453	1,261,040
受取手形、売掛金及び契約資産	872,132	832,074
電子記録債権	248,869	220,480
商品及び製品	141,696	167,642
仕掛品	284,382	276,391
原材料及び貯蔵品	117,168	113,549
その他	13,888	21,819
貸倒引当金	△419	△282
流動資産合計	3,140,171	2,892,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	466,326	466,601
減価償却累計額	△204,385	△209,351
建物及び構築物（純額）	261,940	257,249
機械装置及び運搬具	43,320	70,804
減価償却累計額	△18,869	△22,252
機械装置及び運搬具（純額）	24,450	48,551
土地	400,435	400,435
リース資産	70,496	70,496
減価償却累計額	△36,435	△41,484
リース資産（純額）	34,060	29,012
その他	49,499	52,988
減価償却累計額	△22,065	△24,131
その他（純額）	27,434	28,856
有形固定資産合計	748,321	764,104
無形固定資産		
のれん	14,143	—
その他	7,529	6,780
無形固定資産合計	21,673	6,780
投資その他の資産		
投資有価証券	140,350	132,008
繰延税金資産	35,308	38,668
その他	28,657	29,107
貸倒引当金	△521	△311
投資その他の資産合計	203,795	199,472
固定資産合計	973,789	970,357
資産合計	4,113,961	3,863,071

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,686	493,958
電子記録債務	1,255,012	936,578
1年内返済予定の長期借入金	35,028	6,410
リース債務	12,907	11,545
未払法人税等	139,140	124,821
賞与引当金	71,681	59,097
製品保証引当金	11,907	9,829
その他	158,952	101,017
流動負債合計	2,125,317	1,743,258
固定負債		
リース債務	30,574	25,113
退職給付に係る負債	20,134	26,949
資産除去債務	25,443	25,519
固定負債合計	76,152	77,582
負債合計	2,201,470	1,820,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	1,846,159	1,975,855
自己株式	△67,756	△67,831
株主資本合計	1,858,402	1,988,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,485	32,986
その他の包括利益累計額合計	38,485	32,986
非支配株主持分	15,603	21,218
純資産合計	1,912,491	2,042,229
負債純資産合計	4,113,961	3,863,071

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）
売上高	3,211,084	3,250,343
売上原価	2,391,898	2,390,068
売上総利益	819,186	860,275
販売費及び一般管理費	548,212	548,537
営業利益	270,973	311,738
営業外収益		
受取配当金	130	192
為替差益	137	1,372
固定資産売却益	564	—
その他	1,345	639
営業外収益合計	2,177	2,204
営業外費用		
支払利息	480	449
その他	30	63
営業外費用合計	511	512
経常利益	272,640	313,429
税金等調整前中間純利益	272,640	313,429
法人税等	95,247	100,102
中間純利益	177,392	213,327
非支配株主に帰属する中間純利益	3,161	5,615
親会社株主に帰属する中間純利益	174,231	207,712

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）
中間純利益	177,392	213,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,620	△5,499
その他の包括利益合計	△4,620	△5,499
中間包括利益	172,771	207,828
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	169,610	202,213
非支配株主に係る中間包括利益	3,161	5,615

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	272,640	313,429
減価償却費	20,876	20,139
のれん償却額	16,972	14,143
貸倒引当金の増減額（△は減少）	323	△346
賞与引当金の増減額（△は減少）	△16,734	△12,584
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,497	6,815
受取利息及び受取配当金	△130	△288
支払利息	480	449
固定資産売却損益（△は益）	△564	—
売上債権の増減額（△は増加）	△140,290	68,447
棚卸資産の増減額（△は増加）	141,452	△14,334
前渡金の増減額（△は増加）	△8,104	△1,428
未収入金の増減額（△は増加）	△35,291	△2,859
仕入債務の増減額（△は減少）	△111,117	△265,162
未払金の増減額（△は減少）	△545	△36,496
未払費用の増減額（△は減少）	1,635	△5,240
契約負債の増減額（△は減少）	18,146	8,908
製品保証引当金の増減額（△は減少）	332	△2,077
未払消費税等の増減額（△は減少）	12,363	△39,638
その他	3,645	1,678
小計	181,587	53,553
利息及び配当金の受取額	130	288
利息の支払額	△471	△438
法人税等の支払額	△85,519	△114,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,726	△61,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,558	△25,145
有形固定資産の売却による収入	438	—
有形固定資産の除却による支出	△1,200	—
無形固定資産の取得による支出	△862	△645
補助金の受取額	443	—
その他投資等の増減額（△は増加）	△324	△556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,063	△26,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△64,206	△28,618
リース債務の返済による支出	△8,624	△6,823
配当金の支払額	△68,761	△78,016
自己株式の取得による支出	—	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,591	△113,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△54,928	△201,412
現金及び現金同等物の期首残高	1,255,439	1,462,453
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,200,511	1,261,040

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号2022年10月28日）及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日）を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

当社及び連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	1,667,916	—	1,667,916	—	1,667,916
包装機械関係	1,051,040	—	1,051,040	—	1,051,040
梱包資材関係	—	415,682	415,682	—	415,682
梱包機械関係	—	76,445	76,445	—	76,445
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	2,718,957	492,127	3,211,084	—	3,211,084
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,718,957	492,127	3,211,084	—	3,211,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	380	1,072	1,452	△1,452	—
計	2,719,337	493,199	3,212,537	△1,452	3,211,084
セグメント利益	245,303	25,670	270,973	—	270,973

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	1,878,560	—	1,878,560	—	1,878,560
包装機械関係	905,844	—	905,844	—	905,844
梱包資材関係	—	407,902	407,902	—	407,902
梱包機械関係	—	58,036	58,036	—	58,036
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	2,784,405	465,938	3,250,343	—	3,250,343
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,784,405	465,938	3,250,343	—	3,250,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	613	613	△613	—
計	2,784,405	466,552	3,250,957	△613	3,250,343
セグメント利益	278,902	32,835	311,738	—	311,738

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。